



新開まさひこ通信

あけぼの曙

公明党福岡県議団 会報
発行責任者
福岡県議会議員
新開 昌彦
福岡市早良区曙2-1-35
Vol.78号
平成31年1月28日発行



しゅんせつ 室見川浚渫工事 実施を勝ち取る

第28号 ふくおか県議会だより 2018年(平成30年)11月発行(2)

代表質問から

※ここに掲げている質問は、代表質問の一部を抜粋したものです。 ※()は選挙区を記載

Q この1年間で県議員の不祥事は8件。県民の不信や残念を取り除き、県政に対する信頼回復のために、知事が自らのガバナンスの欠如をどう償っているのか明確に、進捗を明らかにする必要がある。再発防止に取組んでいる最中、再び議員が逮捕される事件が発生したことは痛恨の極みで、県民の皆さまに大変申し訳なく、県行政に対しては、まずは私自身、自らを戒し、責任を重く感じています。県政の健全な運営に貢献し、県民の皆さまに責任を重く感じています。県政の健全な運営に貢献し、県民の皆さまに責任を重く感じています。

浦伊三夫 (糸島市)

Q 入札参加資格審査の地域振興活動に、建設労働者の適正な賃金確保や働き方改革に関する項目を新たに追加すべきだと考える。知事の考えを伺う。

大田 京子 (福岡市南区)

Q 7月の豪雨で、福岡市西部を流れる室見川では護岸の一部崩壊し、橋本橋は氾濫危険水位を大きく超え、氾濫寸前であった。流域住民は強い不安を感じている。早急な復旧と浚渫を実施すべきだ。

新開 昌彦 (福岡市早良区)



Q 7月の豪雨で、福岡市西部を流れる室見川では護岸の一部崩壊し、橋本橋は氾濫危険水位を大きく超え、氾濫寸前であった。流域住民は強い不安を感じている。早急な復旧と浚渫を実施すべきだ。

A 今回の豪雨で、室見川をはじめ県管理河川において護岸の崩壊といった施設被害、上流から流出した土砂の堆積が多数発生した。施設被害の復旧は8月上旬から国の災害査定を受けており、査定が終了次第、速やかに工事着手できるよう取り組んでいく。今回の豪雨で河川内に堆積した土砂については、所管の県土整備事務所が堆積状況を調査し、撤去が必要な土砂を把握しているところ。その結果に基づき、必要な浚渫を実施する。